

第 349 回 企業会計基準委員会議事概要

I. 日 時 平成 28 年 11 月 18 日（金） 13 時 30 分～16 時 15 分

II. 場 所 財務会計基準機構 会議室

III. 議 題

（審議事項）

- （1）基準諮問会議からの報告
- （2）2016 年 12 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）への対応
- （3）公共施設等運営権に関する会計処理の検討
- （4）収益認識に関する包括的な会計基準の検討
- （5）マイナス金利に関連する会計上の論点への対応

IV. 議事概要

（審議事項）

- （1）基準諮問会議からの報告

高濱基準諮問会議副議長より、第 28 回基準諮問会議（平成 28 年 11 月 14 日開催）において、企業会計基準委員会への新規テーマの提言がなかったこと、及び企業会計基準委員会の活動状況として、特に収益認識に関する会計基準の開発の検討状況及び適用後レビューの計画策定についての意見募集に関する検討状況について説明を受けて審議された旨の報告が行われた。

- （2）2016 年 12 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）への対応

小賀坂副委員長及び小西専門研究員より、2016 年 12 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）の議題のうち、資本の特徴を有する金融商品に関する概要及び ASAF 会議における対応の決定にあたって基礎とする事務局による気付事項について説明がなされ、第 47 回 ASAF 対応専門委員会（平成 28 年 11 月 11 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

- （3）公共施設等運営権に関する会計処理の検討

小賀坂副委員長及び藤澤専門研究員より、公共施設等運営権の会計処理に関する実務対応報告の文案について説明がなされ、第 92 回（平成 28 年 10 月 24 日開催）及び第 93 回（平成 28 年 11 月 7 日開催）の実務対応専門委員会における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

- （4）収益認識に関する包括的な会計基準の検討

小賀坂副委員長及び川西ディレクターより、全般的な進め方に基づき個別論点（契約の結合等）において抽出された今後検討すべき課題について説明がなされ、第 73 回収益認識専門委員会（平成 28 年 11 月 17 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

- （5）マイナス金利に関連する会計上の論点への対応

小賀坂副委員長及び前田ディレクターより、マイナス金利に関連する会計上の論点への対応について説明がなされ、審議が行われた。審議の結果、退職給付債務の計算における割引率に関する論点については、実務対応報告等の公開草案の公表を経て、平成 29 年 3 月までに最終化することを目標として検討を進めることが了承された。また、金利スワップの特例処理に関する論点及びその他の論点（資産除去債務に係る割引率等）については、特段の対応は図らな

いことが了承された。

以 上